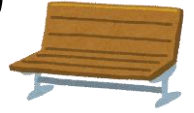


生活支援コーディネーターだより



今回のテーマ

置きベンチから始まる
コミュニティづくり

今回のテーマ「置きベンチ」とは…

ちょっと休みたいと思った時に気軽に座れるベンチがあると、ホッとしませんか？道中ひと休みしたり、誰かと一緒の際は腰掛けてお喋りすることもありますよね。

街中にベンチの設置を進める活動が全国各地で行われています。近隣の京都市では市民団体が廃材等でベンチを手作りして「置きベン」と名付け、個人宅や店、施設等、街のあちこちにベンチを設置する取り組みが広がっています。それに習って「置きベンチ」と呼び、高槻でも同様の取り組みが始まっています。

?? 置きベンチを始めた理由 ??

高槻北地域包括支援センター（以下高槻北包括）が関わる市内北部の地域は、坂が多く、高齢者をはじめ地域の方の移動の負担になっています。

「ひと休みできて、移動の負担が減る」「ベンチに腰かけてお喋りする等、地域住民の交流促進につながる」ことを目的に置きベンチの設置を進めたいと、高槻北包括より話があり、この取り組みをはじめました。



実際に設置した「置きベンチ」

清水台に置きベンチを設置しました !

はじめに、坂が多い清水台地区を対象に行うことになりました。令和6年6月に、高槻北包括と一緒に清水台に置きベンチを2台設置しています。裏面には設置した方のインタビューを掲載しています。

裏面に続く



置きベンチ設置の取り組みに
協力されている方にインタビューしました！！



Q.実際に設置してみた感想を教えてください。



〇さん作川柳
「坂の街 置きベンチあって ホットする」

〇さん:置いて良かったと思いました!
知人やご近所の方はもちろん、
先日は親子が利用してくれました。
老人会の帰りに毎回ひと休みされる
方もいるんですよ。

Kさん:ガレージに置いているので、知人が
利用する程度ですが、座ってゆっく
り話せるし、座って見える「景色が
いいね」と好評です。

Q.地域の中で置きベンチは必要だと思いますか？

〇さん:もっと置きベンチが増えたら良いなと
思います!

Kさん:この地域は坂があるので、坂をあが
った所に一息つける場として置きベンチ
が広がれば良いと思います。



インタビューを終えて・・・

置きベンチを設置したことで、外出時にひと休み出来る場所になったり、地域の方と交流できる機会になった様子です。設置した方も効果を感じ喜ばれているようでした。今後も地域の方の理解を得ながら、高槻北包括と一緒に、少しずつ設置を進めていきたいと思っています!

※置きベンチの座面として使える廃材を募集しています!募集状況やご支援頂ける方は
高槻北包括 (072-687-0303) までご連絡下さい。



生活支援コーディネーターは地域の社会資源の情報を集めています。
「近所に気軽に通える場所があるのか知りたい」「地域の方が集える
場所を作りたい」等、お気軽にご相談ください。